

第14回ガイド実践入門「皇居東御苑」研修終了報告
2018年1月10日（水）実施 JGA 本部運営委員会

1月10日（水）午前9時50分、大手町駅C13b出口に集合し、2016年9月に続いて2回目となるガイド実践研修「皇居東御苑」研修が実施されました。当ガイド実践研修は14回目を迎え、様々な場所での研修を実施し、今回の研修では半数以上の方が既に2回目から8回目というリピーター率の高い研修です。今回、カゼが流行ったこともあり、3名が欠席となり最終的に14名の参加となりました。（会員11名、非会員1名、委員2名）

まずは矢木野さか恵講師が英語でのモデルガイディングで大手門の説明から始まり、高麗門と渡櫓門及び枡形と呼ばれる広場の説明をされました。続いて三の丸尚蔵館と濟寧館（武道場）を説明しながら同心番所を通り、百人番所前の広場で石垣の3種類の積み方を説明。そして次のモデルガイディング講師の沢本和歌子講師にバトンタッチしました。沢本講師は中之門跡を通り、大番所前を抜け、幾たびもの火事で焼けた跡の残る石垣の中雀門跡に進み、明暦の大火が振袖火事と呼ばれる所以も後で説明。そして本丸大芝生の本丸御殿玄関のあった辺りに植えられている2本のケヤキの大木を見ながら、富士見櫓を見学。そこにあるパネルを使って富士見櫓の役割等を説明。その後、松の大廊下跡で忠臣蔵の話を手際よく且つ分かりやすく説明。その後、昨年から一般公開されている富士見多聞の内部を視察。そして天守台を登り、そこから見える50年前にビートルズのコンサートが開かれた武道館や1966年に香淳皇后の還暦のお祝いに建てられた桃華楽堂を説明。その後、北桔橋門を視察後、再度矢木野講師に交代し、既に梅の花が咲き始めている梅林坂を通過して都道府県の木を見ながら、諏訪の茶屋を通り、二の丸庭園へ。四季折々に咲く木々の説明をしながら庭園の池の周りを散策し、最後に昭和天皇のご発意により造成された二の丸雑木林を歩き、二の丸休憩所でモデルガイディングは終了。その後、3グループに分かれ、矢木野、沢本、長屋各講師の引率により、先ほど回ったコ



ースを参考に各自のガイド実践体験を行った。いざ、自分で英語でのガイドをすると誰でも初めは戸惑うものですが、半数以上が経験者の為、皆さん予習された成果を発揮され、又、活発な質疑応答も交えながら、熱のこもったガイド実践となりました。13時に終了となりましたが、皆さん充実した表情で、ガイド実践研修の成果が挙げたものと確信できる研修となりました。